

確かな学びをはぐくむために

～令和4年度 全国学力・学習状況調査結果・概要版～

この概要版は令和4年4月19日に市内のすべての小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果等を踏まえ、保護者の皆様に、小樽の子どもたちの学力や学習状況をご理解いただくための資料として作成しました。学力とは人が生きていく上で大きな柱となる大切な力です。学校と家庭が一体となって、この小樽の未来を担う子どもたちを心豊かに、たくましく育てましょう！
《令和4年9月 小樽市教育委員会》

①各教科の平均正答数

小樽市の小学生は…

国語 小樽市の平均正答数 ⇒ 8.9問 (全14問)

※ 全国平均正答数との差-0.3問

課題：「複数の描写を基に、登場人物の互いの関係性について捉えること」、「人物像や物語の全体像を具体的に想像すること」など

算数 小樽市の平均正答数 ⇒ 9.7問 (全16問)

※ 全国平均正答数との差-0.4問

課題：「分類ごとに整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること」、「日常生活の問題を解決するために、数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりすること」など

理科 小樽市の平均正答数 ⇒ 10.4問 (全17問)

※ 全国平均正答数との差-0.4問

課題：「提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと」、「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつこと」など

小樽市の中学生は…

国語 小樽市の平均正答数 ⇒ 9.6問 (全14問)

※ 全国平均正答数との差-0.1問

課題：「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと」、「文脈に即して漢字を正しく書くこと」など

数学 小樽市の平均正答数 ⇒ 6.4問 (全14問)

※ 全国平均正答数との差-0.8問

課題：「一次関数の変化の割合の意味を理解すること」、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること」など

理科 小樽市の平均正答数 ⇒ 10.2問 (全21問)

※ 全国平均正答数との差-0.2問

課題：「力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること」、「課題に正対した考察を行うためのグラフを作成すること」など

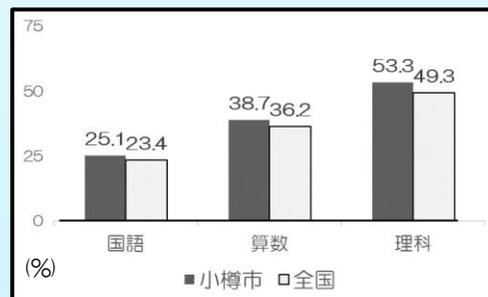


全国平均正答数との差を見ると、小樽市の子どもたちの学力は、全国とほぼ同程度となっています！

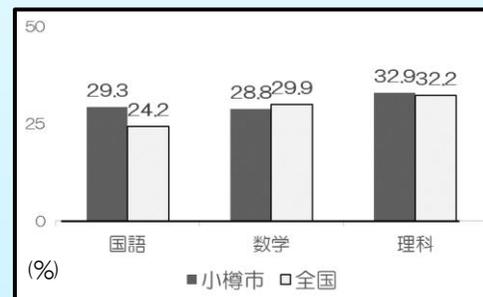
②小樽の子どもたちの学習意欲や生活習慣の特徴

(1) 勉強は好きと回答した児童生徒の割合

【小学校】

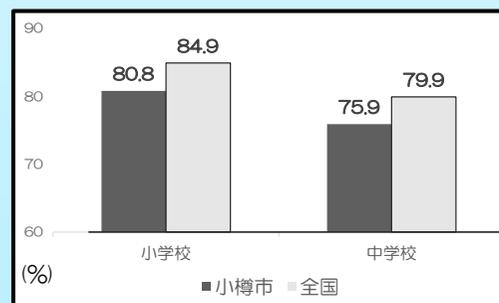


【中学校】

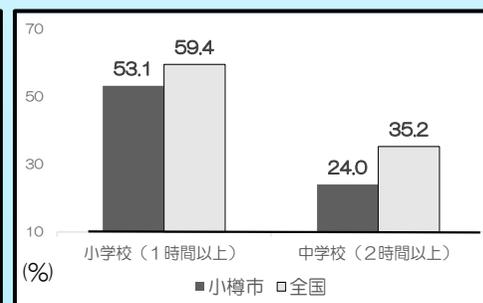


○小樽の子どもたちは、小学校では、どの教科も「好き」と回答した割合が全国に比べて高く、中学校では、数学を除き、国語と理科で、全国に比べて高くなっています。

(2) 朝食を毎日食べていると回答した児童生徒の割合



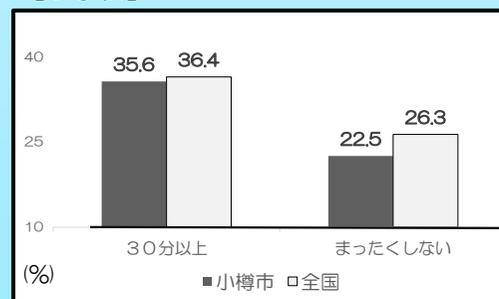
(3) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上(中学生は2時間以上)勉強をしていると回答した児童生徒の割合(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



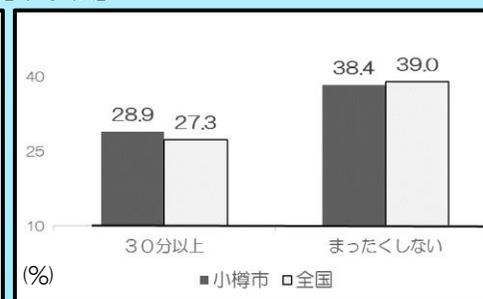
○小樽の子どもたちは、全国に比べ、毎日朝食を食べている割合が低いです。○小樽の子どもたちは、家庭学習の時間が短いです。

(4) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり「30分以上読書している」「まったくしない」と回答した児童生徒の割合(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

【小学校】



【中学校】



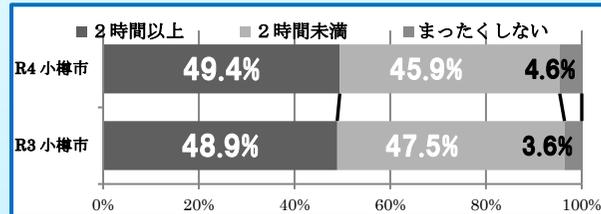
○小樽の子どもたちは、全国に比べ、30分以上読書する割合が、小学校で低く、中学校で高くなっています。また、小中学校ともに、まったく読まない割合は低いです。

③小樽市独自の児童生徒アンケート結果について

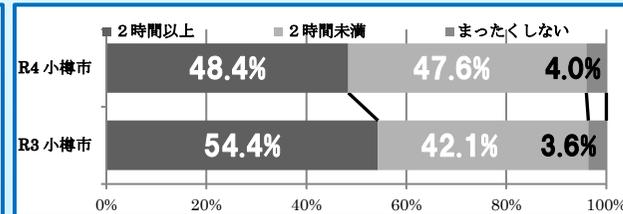
本市における生活習慣上の課題と考えられる調査項目について、5月から6月にかけて、全国学力・学習状況調査と同様に、各学校の小学校6年生と中学校3年生を対象に小樽市独自の児童生徒アンケートを実施しました。（※「その他」「無回答」の数値は記載しておりません。）

(1) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（勉強をするための時間は除く）

【小学校】

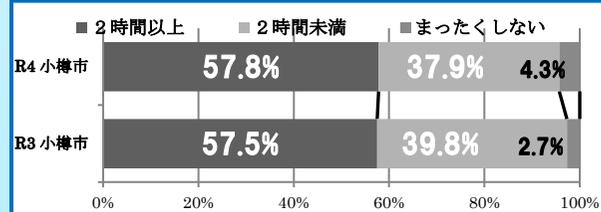


【中学校】

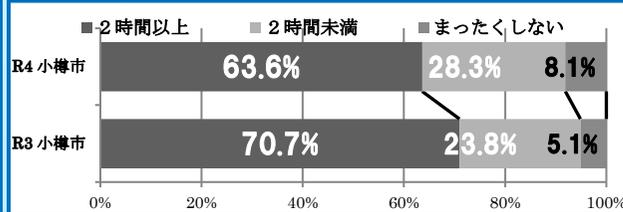


(2) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。（※令和3、4年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査から抽出）

【小学校】

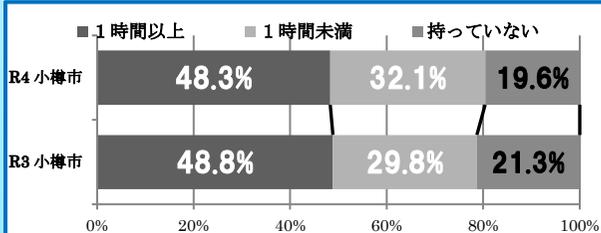


【中学校】

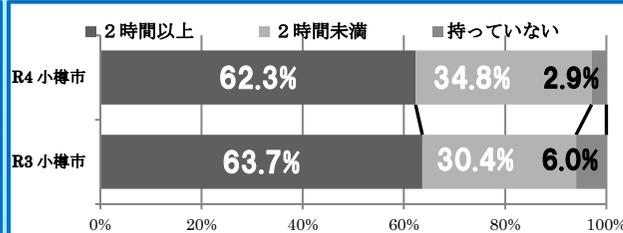


(3) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

【小学校】



【中学校】



- 小樽の子どもたちは、テレビやビデオ・DVDの視聴を2時間以上する割合が4割を超えており、ゲームを2時間以上する割合は約6割となっています。
- スマートフォンを使用する時間は、前年度より微減していますが、小中学校ともに高い割合になっています。
- 「生活習慣スケジュール表」を活用するなどして、電子メディアとの関わり方を児童生徒が自ら考え、使用時間を制限するなど、家庭での約束やルールづくりが大切です。



家庭でしっかり取り組みましょう!!

① 朝食を毎日必ず食べましょう!!

② 家庭学習の時間

(学年×10分+10分以上)

をしっかりと確保しましょう!!

※中1は7年生として計算します ※土日も勉強する時間を取りましょう



③ 平日に1日10分以上読書をする習慣を身に付けましょう!!

④ 平日の電子メディアの使用時間を3時間未満にしましょう!!

<例> テレビ・DVD・動画等 → 1時間
ゲーム → 1時間
スマートフォン → 1時間

⑤ 「おたるスマート7」に基づき、電子メディアとの関わり方について家庭でルールや約束事を決め、実行しましょう!!